

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習指導Ⅲ		科目コード	50606	担当者	実習指導担当教員	
対象学生	幼児教育学科 保育実習Ⅲ受講学生		学期区分	通年	単位数	1	卒業要件	選択	
							免許・資格要件	保育士資格必修	
科目の主題							成績評価の方法と割合		
<p>保育実習Ⅰでの自己課題をもとに、児童福祉施設（保育所以外）における個別支援計画の作成と実践の方法を学習する。さらに、実習の総括と自己評価を行うことで保育実践力を培い、保育士の仕事内容や職業倫理について理解を深める。</p>							受講態度	40%	
							提出物	60%	
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力（尽心）	高度な知性と創造力（創造）	明確な意志と実践力（実践）
1	子どもの観察や関わりの視点をもつことができる						○		
2	保育技術を高めることができる						○		
3	保育士としての自己課題を明確にできる					○			
4								○	
5									
授業方法									
<p>幼児教育学科教員がオムニバスで授業を行う。 講義やグループ学習、実技、講演など、授業内容に応じた授業方法をとる。</p>									
準備学修（予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容）									
<p>「教育・保育実習の手引き」と「実習記録ハンドブック」を熟読する 他の授業内容をしっかりと修得する</p>									
授業計画									
第1回	事前訪問オリエンテーション								
第2回	利用者の生活と就労Ⅰ								
第3回	利用者の生活と就労Ⅱ								
第4回	利用者支援の方法と内容								
第5回	卒業生講演会								
第6回	実習施設の情報収集								
第7回	保育実習ⅢオリエンテーションⅠ								
第8回	保育技術実践（保健・衛生）								
第9回	保育実習ⅢオリエンテーションⅡ								
第10回	保育実習Ⅲ事前訪問								
第11回	保育実習Ⅲ事前訪問								
第12回	実習報告会								
第13回	保育実習Ⅲ事後指導								
第14回	意見交換会								
第15回	まとめ								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
<p>「教育・保育実習の手引き」 「実習記録ハンドブック」 プリント等</p>					<p>保育実習Ⅰ（施設）で学んだ内容に併せて、保育実習Ⅲでは利用者一人ひとりに応じた支援の内容や方法についての事前学習が必要です。施設の実情や利用者の実態を理解してしっかりと実習課題に反映してください。</p>				